

日・コートジボワール共同声明（骨子）

1. 冒頭

- 我が方（日本）はコートジボワール大開設50周年の年に、仏語圏西アフリカへの初の総理訪問。
- 「西アフリカの玄関口」たる同国が、安定・成長・投資呼び込みの好例となる方策を議論。
- また、ECOWAS議長である同国大統領と、西アフリカ全体の安定と成長を議論。

2. 平和と安定（若者・女性支援を含む）

- コートジボワール側：平和・安定、国民和解や公正な富の再分配への取組を再確認。
- 日本の支援：女性の活力も活かしたコートジボワールの平和・安定や国民和解促進を支援。
 - 平和と安定：770万ドルの支援（武装解除・動員解除・再統合（DDR）、農業分野の女性支援等）、警察能力強化
 - 国民和解（既往案件）：公正な富の再分配（公共サービス改善）、若者の職業訓練支援

3. 経済成長・投資環境整備

- コートジボワール側：日本企業の円滑な活動に向け、投資環境整備促進を表明。
 - 新投資法による治安も含めたビジネス環境の改善を促進。
- 日本の支援：支援の本格的再開を表明。日本企業進出を支援（投資・産業・インフラ）。
 - 投資促進：投資促進政策アドバイザー派遣
 - 産業・人材：ABEイニシアティブ、有望産業振興支援プロジェクト、国産米振興支援
 - インフラ：①都市計画マスタープランの結果としての高架橋建設に係る調査実施
②西アフリカ成長リング構想に係る戦略的マスタープラン策定。

4. 西アフリカの安定と開発

- サヘル地域の諸課題への対処、西アフリカの開発への取組の重要性を確認。
- コートジボワール側：テロとの闘い（サヘル）、魅力的な市場になるための経済統合推進。
- 日本の支援：TICAD Vのサヘル支援策三本柱の具体化、地域統合・開発支援を表明。
 - サヘル支援策三本柱
 - ・開発・人道：サヘル地域に対する8340万ドルの新規支援（避難民支援等）。
 - ・治安人材育成：仏語圏の法執行能力強化支援（研修）
 - ・対話の促進：サヘル諸国関係者を日本に招へい。
 - 西アフリカ支援：UEMOA専門家派遣（既往案件）、人材育成等支援の継続。
- 日本の「積極的平和主義」について、先方から支持表明。

5. 国際場裡における協力

- 安保理改革への協力で一致。科学に基づく資源の持続可能な利用推進で一致。
- スポーツ・フォー・トゥモロー（柔道着100着供与等（NPO 柔道教育ソリダリティによる））。スポーツ振興・交流促進。

6. 両国間関係強化の方策

- 今次訪問時に確認された互恵的関係の強化のため、協議を様々なレベルで継続。（了）